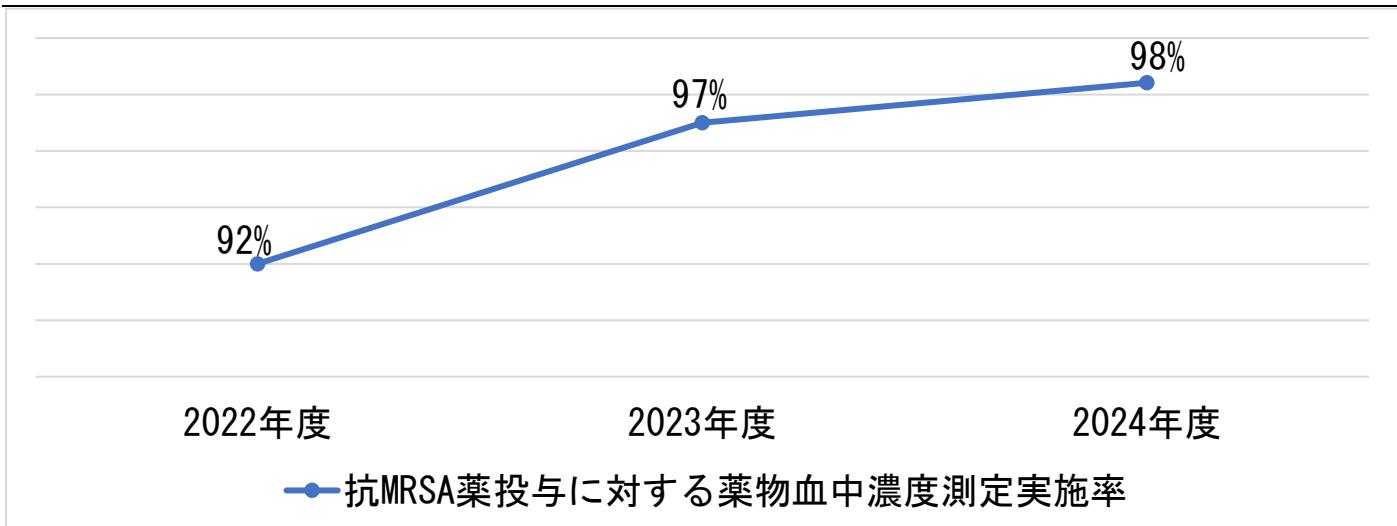


抗 MRSA 薬投与に対する薬物血中濃度測定実施率



■ 定義

薬物血中濃度を測定した患者数
————— × 100 = 抗 MRSA 薬投与に対する薬物血中濃度測定実施率
薬物血中濃度測定を行うべき
抗 MRSA 薬を投与した患者数

■ 指標の解説

薬物血中濃度測定結果を活用した抗MRSA薬の適正量の使用は、耐性菌の出現やアウトブレイクの抑制だけではなく、副作用の回避、治療期間の短縮など、患者さんの質向上につながります。

■ 改善活動

Plan

薬剤部と協働し、遅滞なく血中濃度測定の解析を行いオーダー医に解析結果をフィードバックする。

(活動計画)

毎月の実施状況確認と、4半期ごとのICC・ICMへの報告

Do

4半期ごとにICC、ICMに実施状況を報告。適切な時期にTDMを実施できていなかった症例に関しては、病棟担当薬剤師（リンクファーマシスト）を通してフィードバックを実施。

(下半期)

概ね継続して100%の実施率を達成していることから、次年度はモニタリングおよび必要時介入することを検討。

(年度末)

モニタリングおよび必要時介入とする方針。薬剤師によるTDMオーダーの代行入力を2025年度中に開始できる体制をつくる。

(上半期)

高い実施率を維持できている。実施できていなかった3症例のフィードバックもできていることから、現行体制を持続的に行える仕組みを確立していく。

(一例としてPBPMとしてTDMオーダーまで薬剤師による代行入力を行う体制など。)

(年度末)

連休、年末年始に対象抗菌薬を開始する際に逸脱するリスクがあると認識している。引き続き高い実施率を維持できていることを確認できた。

Action

Check